

市災害復興ボランティアセンターは活動を終了します

令和2年7月豪雨の発災直後に市社会福祉協議会が設置し、多くのボランティアの皆さんのご協力で活動を続けてきた市災害復興ボランティアセンター

は、3月31日で活動を終了し、閉所します。住まいの応急復旧についてのボランティアを必要とする人は、早めに問合せ先までご連絡ください。

問合せ 市災害復興ボランティアセンター (☎090-5484-4011)

解体した世帯は被災者生活再建支援金（基礎支援金）の申請ができます

被災者生活再建支援制度とは

自然災害で住んでいる住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に「被災者生活再建支援金」を支給し、生活再建を支援するための制度です。

新たな支援制度ではありませんので、既に受給している場合は申請できません。

申請期限 基礎支援金 8月3日（水）

期限を過ぎた場合は支援を受けられませんので、必ず期限内に申請してください。

対象者

- ・住宅が大規模半壊または半壊し、その住宅をやむを得ず解体した世帯（全壊世帯と同等の支援が受けられます）。
- ※自己が所有する住宅に限らず、住んでいた住宅が賃貸の場合も対象です。
- ※大規模半壊世帯として既に基礎支援金を受給している場合は申請することで差額が支給されます。

申請場所

カルチャーパレスホール棟 生活再建相談窓口
平日 午前9時～正午・午後1時～4時

| 区分 | 支給額 | | 必要書類 |
|------------|--------------|----------------|--|
| | 複数世帯 | 単数世帯 | |
| 大規模半壊世帯→解体 | 50万円 (差額) | 37.5万円 (差額) | 解体・撤去完了通知書 ※1 または閉鎖事項証明書 ※2 |
| 半壊世帯→解体 | 100万円 | 75万円 | 上記に加え ・罹災証明書 ・世帯全員の住民票（続柄の記載があるもの） ※3 ・預貯金通帳の写し（世帯主名義のもの） |

※1 公費解体が完了後、市環境課から所有者へ送付されます。

※2 住宅の解体後、滅失登記が行われた後に、法務局で取得できます。

解体された住宅が賃貸の場合は、所有者から解体・撤去完了通知書の写しをもらうか、ご自身で閉鎖事項証明書を取得してください。閉鎖事項証明書は誰でも取得できます。

※3 令和2年7月4日の状況が分かるもの。被災日以降に住居登録の異動がある場合は、改製原住民主票などが必要です。

問合せ 市被災者支援対策課生活再建係 (☎22-2125)

山田川の整備を考える 復興まちづくり座談会

山田川の整備に向けて意見を交わす座談会を2月15日、東西コミセンで開催しました。同川は球磨郡山江村から市内に流れる県管理の一級河川で、令和2年7月豪雨では球磨川との合流部付近で大規模な被害が発生。現在、堤防の復旧工事や堆積土砂の撤去を行っています。

座談会の参加者からは「土地所有者の意向もあると思うが川幅を広くしてほしい」「遊水地は検討しないのか」など、さまざまな意見が出されていました。その意見を踏まえ、今後整備方針を検討していきます。



山田川近くに住民ら約30人が参加

市政功労者を市長に推薦 市制施行80周年記念市政功労者表彰選考

市では、地方自治をはじめ、教育・文化・産業・体育・消防・福祉そのほか各分野で市政の発展に尽力した人を市政功労者として表彰します。2月11日の市制施行80周年に合わせ、選考委員会は市政功労者として378の個人や団体を選考。2月10日にカルチャーパレス仮本庁舎で同委員会の笹山会長が松岡市長に推薦しました。

今後は、市長が選考委員会の推薦に基づいて被表彰者を決定し、3月27日に行われる市制施行80周年記念式典のときに代表者に表彰状が手渡されます。



選考委員会の審議は昨年12月と今年1月に行われた

春の訪れを木々で楽しむ 第53回ひとよし植木・苗木市

人吉の春の風物詩「ひとよし植木・苗木市」が、ふるさと歴史の広場で2月1日～17日に開催されました。昨年は令和2年7月豪雨や新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、2年ぶりの開催。

植木市をいつも楽しみにしているという女性は、親から子へ代々受け継ぐという意味で縁起が良いとされるユズリハを購入。「息子が結婚し新しい家族を持った。いつか地元に戻って家を継いでくれたらうれしい」と話し、水やりや剪定方法などを熱心に聞いていました。



会場には約300種類3万本の植木や苗木が並んだ

ホームページを自分で制作！ 0から学ぶプログラミング講座

新型コロナウイルス感染症の影響で変化した生活様式への対応や、都市部との情報格差の解消などを目的に、市は2月20日にくまびらでプログラミング講座を開催しました。

本市にサテライトオフィスを持つIT企業・株式会社i-TAN協力のもと、知識がなくてもホームページを作ることができるSTUDIOというソフトを使い疑似サイトを制作。参加した板崎晶恵さん(中神町)は「ITに興味があり参加したが少し時間が足りなかったが楽しかった」と話しました。



講師の指導を受けながら制作する参加者